

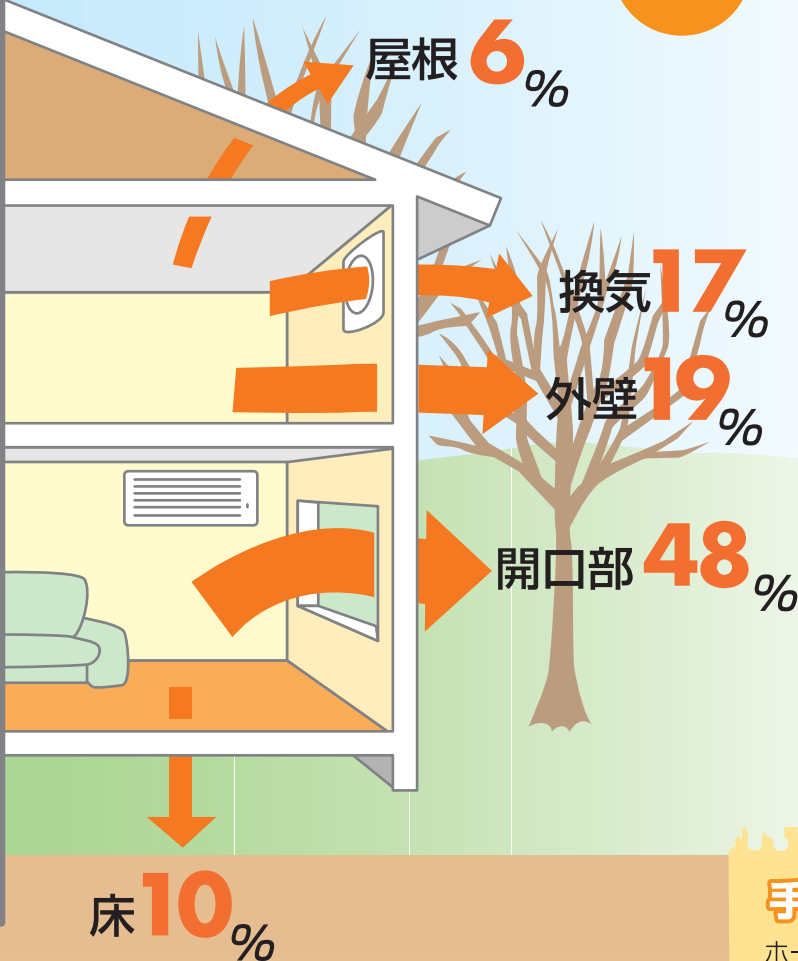
省エネ住宅の基本は 高気密・高断熱

冬は暖かく、夏は涼しい快適な住まい。しかも省エネルギーだから経済的で、地球環境にもやさしい。それが高気密・高断熱住宅です。家の断熱性と気密性をともに高めると、冬は中の熱が逃げにくく、夏は外の熱が伝わりにくくなります。



暖房時の熱の流出割合

冬



高気密・高断熱住宅の ポイント

建物全体を高性能断熱材で覆う

断熱材の性能を従来の2~4倍にし、熱が逃げやすい開口部には複層ガラス入りのサッシや断熱ドアを採用して、熱伝導による冷暖房負荷を大幅に軽減します。

気密性を高めてすき間風を防ぐ

家全体を気密材で覆い、開口部には密閉度の高い特殊なドアや窓を採用してすき間風による冷暖房負荷を大幅に軽減します。

24時間計画換気で 室内の空気をクリーンに保つ

高気密住宅では、すき間風任せの自然換気は期待できません。水蒸気等による室内空気の汚染解消のために、常時計画的な空気交換が必要です。

手軽に断熱性をアップ

ホームセンターなどで手ごろな値段で売られている窓用断熱シート。これをサッシを覆うようにすき間なく張り付けます。サッシの金属部分は熱が通りやすく、すき間があると室内の水蒸気が低温のガラス面に回りこんで結露するので気を付けましょう。

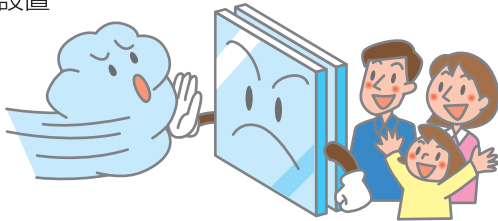
熱の流入を防ぐためのポイント



リフォームでも断熱性を上げることができます。

窓

- 厚手のカーテンやすだれを付ける
- ガラスの表面にフィルムを張り付ける
- サッシはそのままガラスを交換する
 - ▶真空ガラス、アタッチメント付き複層ガラス
- サッシごと取り替える
 - ▶断熱アルミサッシや樹脂製、木製サッシ
- 今の窓はそのままに「内窓」を付ける
 - ▶樹脂製のレール付き枠を取り付け、内窓を設置



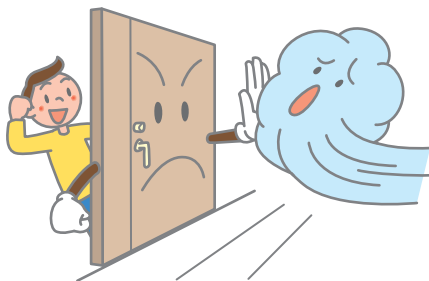
天井・床

- 天井裏・床下に断熱材を入れる
 - ▶無機繊維系のグラスウールやロックウール、木質繊維系のセルローズファイバーやインシュレーションボード、発泡プラスチック系の押出発泡ポリスチレンフォームや硬質ウレタンフォームなど



玄関ドア

- 断熱ドアを使用する
 - ▶アルミの形材に断熱材を装てんし、ガラス部に複層ガラスを用いたものなど



冷房時の熱の流入割合

夏

